

鶴 建 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 様

鶴居村長 日野浦 正志



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

仲秋の候、貴職におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

常日頃より道路行政に格別なるご尽力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、先にご依頼のありました標記につきまして、別紙のとおり提出いたしますので、よろしくお取り計らい願います。

鶴居村建設課

TEL:0154-64-2115

FAX:0154-64-2577

- ・ 地方においては、主要な幹線道路のネットワークの形成をはじめ、防災対策、通勤・通学、さらには救急医療など生活道路の面においても、まだまだ道路整備は不十分であり、毎年、道路特定財源を上回る多くの一般財源を投入し、道路整備を行なっていることから、地方が真に必要な道路整備を行なうにあたっては、道路整備のための財源の確保・充実を強く要望します。
- ・ 道路の維持管理においては、今後、老朽化した既存施設（道路、橋梁等）が増加し、維持修理費の増大が見込まれることから、維持補修に関する支援制度の拡充を、強く要望します。

○現 状

・人口規模、構造

平成 20 年 8 月末の人口は、2,584 人で、微減傾向が続いている。産業別では、第 1 次産業が減少し、第 3 次産業が増加している。

・基幹産業である酪農の現状

国の農業政策とともに、独自の施策により生産基盤の充実や規模拡大が図られ、良質の生乳が生産されている。

また、村内産チーズは最優秀の賞を獲得した。

・雇用、就業及び商業の現状

本村では、新卒者が村内での就業を希望しても、企業が少ないためやむを得ず村外へ就業している。

また、商業施設が少なく商品も乏しいことから、隣接の釧路市で買物をしている。

○課 題

・人口減少、構造変化の懸念

宅地分譲等で定住対策に取り組むも、人口減少・少子高齢化が確実に進行しており、村の魅力を生かしたより快適性の高い移住者対策が必要である。

・基幹産業である酪農の将来不安

飲用乳消費の低迷、輸入乳製品との競争激化、配合肥料の高騰など酪農を取り巻く環境は非常に厳しく、生産コスト・移送コストの低減、高付加価値の強化等の対策が急務である。

・雇用促進、買物環境の改善

本村と釧路空港及び JR 釧路駅間は、1 時間以内の距離にあり、内陸性の気候により温暖なことから、企業誘致に良好な条件であるが、1 年を通して良好な道路環境の整備が求められる。

釧路市内商業区域へのアクセスも同様である。

○ 第4次鶴居村総合計画基本目標達成に向けた取り組み

・ひとを育てるむらづくり

むらづくりを支える最も大きな力は「人」である。自ら夢を抱き、果敢に挑戦することができる人づくりをめざす。(通学環境の整備、近隣市町村・国内外との交流促進のための交通網の確保)

・たくましい産業とにぎわいのむらづくり

定住や移住を促進し、地域を活性化していくために、将来を見据えた産業の振興と基盤整備を進める
(空港・駅への円滑な交通環境による企業の誘致及び酪農業と密着した観光事業の充実)

・暮らしの安らぎを高めるむらづくり

地域で支えあう気持ちを育みながら、生活の中で不安を感じない、安全・安心なむらづくりをめざす。
(安全で円滑な交通確保のための計画的な整備の実施)

・ともに考え、行動するむらづくり

地域の目標を共有し、課題をともに解決していけるよう、協働のむらづくりをさらに進める。
(生活道整備による住民参加・参画の促進、協働の推進)

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

北海道鶴居村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 国道、道道整備の要望	・ 釧路鶴居弟子屈線の線形・勾配改良・拡幅	・ 移住者及び企業誘致の促進が期待される ・ 近隣との広域的観光事業の展開がより促進され、観光事業の発掘が期待される。	
・ 橋梁点検、長寿命化対策	・ 橋梁長寿命化計画の策定	・ 適切な維持補修により、橋梁の延命が図られ、安全の確保とともに財政的軽減が図られる。	
・ 村道舗装補修	・ 毎年 2,500m 程度オーバーレイ等実施	・ 計画的補修により延命を図ると共に、地域住民の生活環境の維持・安定が図られる。 - さらに観光立村の自動車交通を支へ、地域経済の発展が期待される。	